

第6回中央アジア刑事司法制度研修

「刑事司法過程における薬物犯罪に対する効果的な対策及び不法薬物の国際取引の防止」

1. 日程及び参加者

- 平成22年3月3日（水）～同月18日（木）
- 海外参加者4か国9名（カザフスタン、キルギス、タジキスタン、ウズベキスタン）

2. セミナー概要

本セミナーは、薬物犯罪及び国際取引の防止に関し、現状、課題及び対策を整理し、知識・経験の共有、相互理解の深化を図ることにより、中央アジア諸国の司法機関間の緊密な協力関係を構築することを目標とする。主要な検討項目は以下のとおりである。

【薬物犯罪防止・取締り】

- 各国における薬物犯罪の実情及び問題点
- 薬物犯罪防止・取締りのための法整備上の課題及び対策
- 薬物犯罪防止・取締りのための組織整備上の課題及び対策

【捜査・公判段階における効果的な対策】

- 薬物犯罪の効果的な摘発のための捜査手法
 - ・ コントロールド・デリバリー
 - ・ 通信傍受
 - ・ おとり捜査
 - ・ 情報提供者の利用
 - ・ 証拠物の差押え
 - ・ 証人保護（捜査段階及び公判段階の双方を含む）
 - ・ その他捜査上有効な制度等
- 薬物犯罪事件の公判手続・公判立証
- 国内関係機関の連携
- 薬物犯罪収益の剥奪

【国際協力の促進・国際取引の防止に向けた方策】

- 不法薬物の国際取引の防止に関する各国の法制度及び条約並びにこれらを実施する際の問題点及び対策
- 国境警備及び管理
- 情報交換、共同捜査
- 捜査共助
- 犯罪人引渡し

3. 客員専門家等

本セミナーの一環として、アジ研教官による講義のほか、以下の客員専門家・外部講師による講義を行う（敬称略）。

【客員専門家】

- オルガ・ズドヴァ 国連薬物・犯罪事務所（UNODC）中央アジア地域センター
上席法律顧問

【外部講師】

- 小野田博道 警察庁刑事局組織犯罪対策部薬物銃器対策課課長補佐

以 上